

不登校・引きこもり サポート

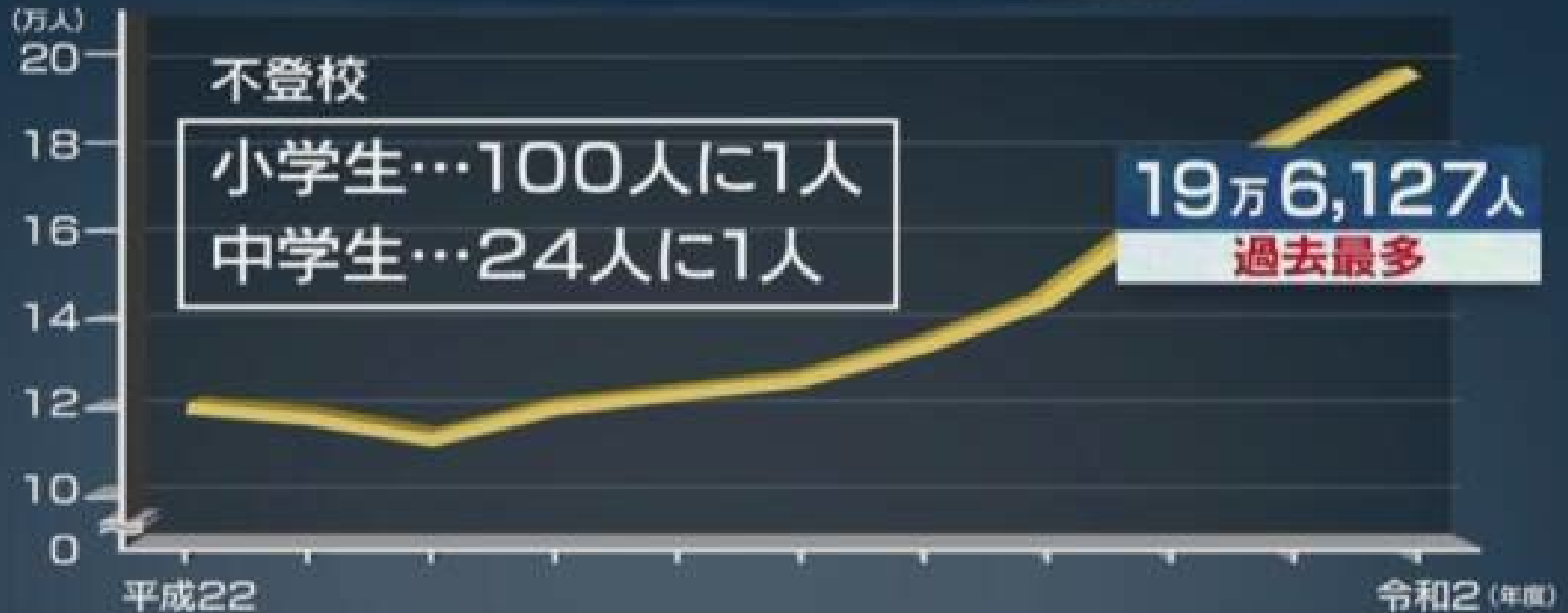
雪どけ

小中学校不登校児童生徒数

([HTTPS://WWW3.NHK.OR.JP/NEWS/](https://www3.nhk.or.jp/news/)より)

NHK

小中学校 不登校 児童生徒数 (文部科学省)



不登校の「四大原因」と割合（前年度比）

（文科省「児童・生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」より作成。）

		総数(人)	いじめ以外の友人関係の問題(%)	親子の関わり方	生活リズムの乱れ、遊び、非行	無気力・不安
小学校	令和2年	63,350	6.7(↓)	14.6(↓)	14.0(↑)	46.3(↑)
	令和元年	53,350	10.2	16.7	10.3	41.1
中学校	令和2年	132,777	12.5(↓)	6.2(↓)	11.0(↑)	47.1(↑)
	令和元年	127,922	17.2	7.5	8.6	39.5

学校や社会になじめない子供たち (原因と総数の変化)

①増加している原因

(生活リズムの乱れ、無気力・不安)

②減少している原因

(いじめ以外の友人関係、親子の関わり方)

★家庭での生活リズムの確立が乱れてきている！

③四年前と比べてみると、

平成29年/令和2年

- ・ 小学校 208人に1人/100人に1人
- ・ 中学校 33人に1人/24人に1人



★小学生は、四年前より二倍に増加！

※「不登校」の具体例

- ・ 友人関係又は教職員との関係に課題を抱えているため登校しない(できない)。
- ・ 遊ぶためや非行グループに入っていることなどのため登校しない。
- ・ 無気力で何となく登校しない。迎えに行ったり強く催促したりすると登校するが長続きしない。
- ・ 登校の意志はあるが身体の不調を訴え登校できない。漠然とした不安を訴え登校しないなど、不安を理由に登校しない(できない)。(文科省サイトより)

学校に行っていないから、生きていちゃいけないんだ

やりたいことがあるのに、体調が不安で外に出られない！

勉強も仕事も何もやりたくない



雪どけ 四つの事業

①居場所事業

②学習支援事業

③保護者支援事業

④オンライン学習広場事業

オンライン事業の概要

★草の根育成事業財団の助成により開設

2020年助成 285,000円

2021年助成 144,000円

★助成の背景

コロナ禍における対面的支援の困難性

オンライン事業の実際(1)

★YOUTUBEによる数学の学習

①2020年度「みんながつまずく数2B」

動画作品数(微分編6、積分編4)

総閲覧回数343回(2022年05月3現在)

②2021年度「みんながつまずく数1A」

動画作品数(因数分解編3、N進法編1、三角比編3)

総閲覧回数184回(2022年5月3日現在)

オンライン事業の実際(2)

★TWITTERによる非対面・双方向の学習

①TWITTERのDMでの質問

2020年度 質問者数4名、質問数19問

2021年度 質問者数2名、質問数13問

オンライン事業の実際(3)

★ZOOMによる疑似対面・双方向の学習

2020年度 実施なし

2021年度 不登校生徒・中3生1名

(1時間半授業を15回実施)

オンライン事業の実際(4)

★LINEによるコミュニケーションの円滑化

生徒・卒業生向けのミーティング

(毎月第2木曜日に実施)

スタッフ向けのミーティング

(毎月第4木曜日に実施)

どちらも月1回、20:30～22:00まで。

オンライン学習支援の成果と今後の課題

★成果 ①オンラインの導入によって活動の幅が拡大

②気軽に質問ができるメリット

③会員・利用者の相互交流の活性化

★課題 ①固定的なつながりの維持

②サービス利用者の確保

③小学生への対応の問題

★「雪どけ」の目指す居場所とは？⇒「三つのところ」を目指して

①自分を好きになるところ

②人とつながるところ

③エネルギーを蓄えるところ

「いてもいいし、いなくてもいいところ！」